

中国の思考様式を踏まえた東アジアの平和構築

2023年11月8日

宮本 雄二

1. 中国の思考様式

(1) **世界大国の実現は明清の時代に戻ること。面子と誇り。**

(2) **統治の手法としての「中国の夢」**(あらゆる面で世界のトップに立つ中国+人民の幸福の実現)

・過去(中国共産党の歴史的功績)と現在(経済発展)だけではなく、未来

(「中国の夢」)を語る必要性

・中国の外交(世界観)の展開はすべて国内的必要から

(3) **理念と現実の相克**

・理念としての儒学と手段としての現実主義(『東周列国志』)

・多元的文明論と欧米主導文明への挑戦

・「人類運命共同体」を実現する手段としての「一帯一路協力」

・多極化世界の実現/グローバルサウスとの連帯⇔中国の利益と影響

力の重視

(4) **欧米主導の現行国際秩序への挑戦から、現行国際秩序の修正と補強へ**

・中国経済はグローバル経済と完全に一体化

・現行国際秩序に代わる理念と仕組みを構想できず(中国式ガバナンス)

の非普遍性)

⇒国連憲章、国連システム、国際法の重視

⇒人権を含む普遍的価値を否定せず。だが欧米の解釈権の独占は許さ
ず。

2. 日中の共通目標としての東アジアの平和構築

(1) 東アジアの平和と安定は、日中の持続的経済発展の前提条件

(2) 米中の軍事的対峙のエスカレーションは平和の問題の重要性を倍加

(3) ロシアの核恫喝により、東アジアにおける核体制の重要性の急増

⇒東アジアにおける核を含む平和構築に対する日中の共通の土俵、共
通の利益の急拡大

3. 東アジアにいかなる平和（安全保障）の枠組みを構築できるか

(1) 中国が主張する「国連憲章、国連システム、国際法の重視」の中身の確
認（日中平和友好条約、共通の土俵、大きな枠組みの確定）

(2) 中国の軍事力の増強と米国を含む近隣諸国の対抗措置の相互関係につ
いて彼我の共通認識を拡大

(3) 東アジアの平和の枠組みに関する日中共通の基本理念、目標の追求

① 国連憲章の理念と原則の堅持。

- ・ 自国の短期的な狭い利益よりも国際社会の公益を追求
- ・ ルールの平等な適用

⇒中国は「理念と現実の相克」を克服できるか？米国は？

② 米ロを含む多国間の枠組みとする。単なる対話と協調を促進する場で

はなく、この枠組みに参加するすべての国の安全を平等に確保し、東アジアの平和を強化するものを追求。第 1 歩としての東アジア版 OSCE（欧州安全保障協力機構）構想（植田隆子・元 E U 日本政府代表部次席大使）。

③ ASEAN との積極的連携

(4) 対話の拡大深化による相互理解の増進がすべての出発点。少なくとも日中の有識者は、東アジアの平和構築に関する本気の議論を開始すべし。